



賃金・労働条件についての私の要求書

東京都人事委員会は、10月9日、2009年度の「職員の給与に関する勧告・報告」を行いました。過去最大の職員給与の引下げとなる厳しいものでした。さらに、職責・能力・業績をより一層反映させるために、昇給カーブをフラット化して高年齢層ほど引下げ率を高め、職によつての給与水準の開きを大きくしました。人事委員会の勧告は、私たちの要求に真っ向から対立するものと言えます。

都側は、人事委員会勧告を重く受けとめるとして、勧告に基づいた提案をしてくれています。都教委と都教組の間では、義務教育等教員特別手当の引下げ、特別支援学級・学校の給料の調整額引下げについて交渉します。

東京都教育委員会に対して私たちの声を届けましょう。あなたの要求を寄せてください。

教職員の勤務条件は、子どもの教育条件に直結します。

私たちの要求に応えてください。教職員の声を担当部局にお伝えください。

- 義務教育等教員特別手当の縮減反対！ 障害児学級の教職調整額の削減反対！ これ以上の賃金削減は止めてください。
- 賃金の大幅引下げをしないでください。「職責と業績」による賃金差別や、給与水準のフラット化を止め、2級賃金を改善してください。地域手当引上げに伴う島しょ教職員の賃金矛盾を解決する特別措置を行ってください。学校事務職員・栄養職員にふさわしい人事給与制度に改善してください。
- 主幹教諭制度、主任教諭制度によつて、協力・共同の学校が壊されようとしています。「職の分化」による教職員の差別分断に反対します。
- 勤務時間短縮の早期実現を望むとともに、実効ある超勤縮減のとりくみをすすめてください。
- メンタルヘルス対策と、パワー・ハラスメント根絶の実効あるとりくみをお願いします。
- 業績評価で一時金を差別する成績率導入に反対します。
- CEART勧告を遵守し、人事考課制度を労使協議事項としてください。



私の要求

2009年 月 日

東京都教育委員会 教育長 大原 正行 様

(職場名) _____ (氏名) _____

取り扱い団体// 東京都教職員組合 fax03(3262)9705